

庁内各課から素案に寄せられた意見と対する考え方等について

提出 課名	該当 ページ	原文	意見、修正内容	意見、修正内容の説明等	考え方・対応について
健康 企画 課	60	●生涯を通じて健康意識向上と運動の習慣化を目指す長浜市スポーツ推進計画に基づき、市民が介護予防等を含めた健康のために気軽に取り組めるスポーツ（運動）の推進を図ります。	「生涯を通じて健康意識向上と運動の習慣化を目指す長浜市スポーツ推進計画、健康ながはま21」に基づき、市民が介護予防等を含めた健康のために気軽に取り組めるスポーツ（運動、身体活動）の推進を図ります。」	健康ながはま21の身体活動・運動分野においても高齢者世代の身体活動の促進や運動推進を記載しています。その後、続く「働く世代からの生活習慣予防と健康づくり」の分野においては“健康ながはま21”の記載があり、見え方として、健康ながはま21が働く世代へのアプローチが主のように捉えられるように感じ、可能な限り記載ください。	『長浜市健康増進計画「健康ながはま21』、生涯を通じて健康意識向上と運動の習慣化を目指す長浜市スポーツ推進計画に基づき、市民が介護予防等を含めた健康のために気軽に取り組めるスポーツ（身体活動、運動）の推進を図ります。』に修正します。
健康 企画 課	61	(2)健康づくり介護予防の取り組み	【現状と課題】、【施策の方向性】、【第9期計画での取り組み】と【目標値】の整合性について	【現状と課題】の中で、通いの場等への参加者の減少と回復に向けた取り組み、また情報発信や活動内容の検討の課題があがっているのに対し、【施策の方向性】が「活動している通いの場への継続支援」であり、回復への取り組みの記載がないこと、情報発信への何らかの取り組みがないので文章の流れとして気になりました。また、【目標値】で、転倒予防自	回復・情報発信など取り組みが記載できていないため、【施策の方向性】及び【第9期計画での取り組み】の「活動している通いの場に対し、活動が継続できるよう支援します。」を「活動している通いの場に対し、活動が継続し、拡充されるよう支援します。」に修正し、通いの場の拡充を支援することを追記します。転倒予防自主グループ参加者数については、令和5年に減少し

資料②

庁内各課から素案に寄せられた意見と対する考え方等について

				主グループ参加者数が現状値の維持になっています。【重点】となつてゐる取組みであり、高齢者人口も増える中、増加を目標としなない理由が気になるります。また目標値にあげる指標として適切なのかも気になるります。	ていることが判明したため、現状から参加者が増加する目標値としました。経年的に把握できる数値であり、目標値としては妥当と考えています。
--	--	--	--	---	--

庁内各課から素案に寄せられた意見と対する考え方等について

提出 課名	該当 ページ	原文	意見、修正内容	意見、修正内容の説明等	考え方・対応について
社会福祉課	27	地域包括支援センターの利用については、「相談ごとなどで利用したことがある」が13.8%と、前回調査(12.0%)に比べ、2ポイント近く上昇しています。	2ポイント	ポイントでなく%表記の方が分かり易い	ポイントを%に修正します。
社会福祉課	51	福祉委員活動取組自治会数(団体)	目標値が現状の数値より低い方が良いと思います。		令和6年から令和8年の目標値は、上位計画である「地域福祉計画」68ページに掲載している「福祉委員支援事業」について、進捗管理における指標値に準拠して記載しています。令和4年の実績値は、取組の成果として目標値220よりも多くなつたため、差が生じているものです。地域福祉計画との整合性を保つため、現状記載のとおりとします。
社会福祉課	56	「避難支援・見守り支えあい制度」の周知、啓発を図り、制度を必要とする人の台帳登録を推進します。	→「避難支援・見守り支えあい制度」を必要とする人への周知、啓発を進めます。	登録台帳は、対象となる要配慮者で作成できていると思うので。	『「避難支援・見守り支えあい制度」を必要とする人への周知、啓発を進めます。』に修正します。